

# 令和2年度事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

公益財団法人 致道博物館

令和3年6月4日

## 概　　況

令和2年度は2月下旬からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、政府より緊急事態宣言が発令され、以後全国的に多くの博物館・美術館が休館した。当館は4月6日から5月10日まで臨時休館し、計画された特別展等は、会期の変更や来年度への延期、並びに創立70周年記念事業等を中止せざるを得なくなつた。

このような状況下での令和2年度の事業概況を、下記のとおり報告する。

公益目的事業1の重点事業(1)重要文化財旧西田川郡役所美観向上整備事業は、2ヶ年継続事業の最終年であり、一階北側の棟端飾りを建物から外し、木下地を補修し、新たな銅板を貼り付けて設置し完了した。重点事業(2)重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)は、令和元年6月18日に発生した山形県沖地震(M7.6、最大震度6強)により漆喰壁や天井面の亀裂などの被災箇所に対しての、国庫補助による災害復旧事業である。本年度は建物の耐震診断を行つた。なお、本事業は2ヶ年に亘る継続事業で、令和3年度は復旧工事を行う予定である。重点事業(3)創立70周年記念事業は前述のように記念式典・記念講演会を中止し、特別企画展のみ実施した。また重点事業(4)鶴岡市文化資源調査では、『大泉叢書(7)』を刊行した。

保存管理事業では、例年のように指定文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪囲いなどを行い、また博物館資料も状況に応じて適正な保存管理に努めた。また、教育普及事業では、講演会、講座、教室、合同茶会を中止し、土曜講座や古文書講習会等を開催し延べ141名が参加受講した。

公益目的事業2の展示事業では、企画展(山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催)8件、個展・グループ展1件、ロビー展3件の展覧会を実施した。併せてこれらの展覧会に関するギャラリートーク、実演なども感染対策を施し参加者を制限しながら実施した。6月から国の「GoToキャンペーン」や8月からの山形県「文化応援キャンペーン」、秋の県内小中学校の修学旅行が多く訪れたため、6~7月の「武っと美!!名品展」3,468名(75名/日)、8~9月の「日本遺産 庄内、悠久の歴史」展3,339名(74名/日)、9~10月の「筆紙の!!名品展」5,920名(141人/日)、11月の「幕末の刀工・藤原清人」展5,089名(175名/日)と、夏から秋にかけて入館者数が増加していった。

しかしながら、過去に例のない入館者数の激減(前年比約49.4%)となり、計24,559名であったことは、新型コロナ感染症に対する人々の恐怖感がそのまま数値に現れているようでもある。

公益目的事業3は鶴岡市から指定管理者の指定を受けた保存活用事業で、国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)、及び大宝館の施設保存管理、展示、普及教育事業等を実施した。両館とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため当館同様に4月6日~5月10日まで臨時休館した。致道館では教育体験講座や研修会、また学校の課外授業での施設利用が18件259名と昨年より減少した。大宝館では夏休みイベント等を中止した。なお、鶴岡市により6月から翌年2月末まで、医療従事者への応援と感謝の気持ちを込めて、建物へのブルーライトアップが行われた。

最後に、早期に新型コロナウイルス感染症が終息し、「酒井家庄内入部400記念事業」が盛会に行われることを祈念する。

## 1. 公益目的事業1 (事業の内容～歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業)

### 1-1 重点事業

#### (1) 重要文化財旧西田川郡役所美観向上整備事業

平成29年3月の大風により、旧西田川郡役所1階屋根南側の棟端飾り(ファイニアル)の銅板がめくれ落下した。応急処置を施したが、経年劣化した箇所が多数確認できるため、南側及び北側の棟端飾りを取り外して銅板を張り替えし、再設置することとした。なお、銅板をはがした際、木下地に著しい腐食が確認されたため、文化庁より計画変更の承認を受けて再利用が難しい部分の木下地の取替・補修を実施した。本事業は文化庁の「美観向上整備事業」2ヶ年の継続事業の最終年である。

#### (2) 重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)

令和元年6月18日22時22分に発生した山形県沖地震(M6.7、最大震度6弱、鶴岡市街地：震度5弱)により、館内建造物に大きな被害があった。特に旧西田川郡役所では1・2階の漆喰壁や同天井張り紙などに大きな亀裂が生じた。翌7月2日には文化庁田中禎彦調査官が来館し、郡役所などの被害状況を確認し、修理方針を示唆された。本事業は文化庁の指導に基づき国庫補助事業として災害復旧工事を実施するもので、その事業期間を2ヶ年の継続事業とし、令和2年度は耐震診断を行った。

#### (3) 創立70周年記念事業（展示事業も含む）

創立70周年を迎えるにあたり、6月13日に創立70周年記念式典・記念講演会の開催を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。なお、関連する特別展の開催（後述）のみを行い、周辺整備事業（受付棟・門扉の改修）等を延期した。

#### (4) 鶴岡市文化資源調査事業

鶴岡市の補助事業として、公益性の高い文化資源を社会に還元するために、当館所蔵の歴史資料などを調査研究した。今年度は山形県指定文化財『大泉叢誌』の筆写・解読・点検・データ入力を実施して活字化、『大泉叢誌(7)』300冊を刊行した。また、『出羽庄内酒井家文書目録』未収載の古文書約50点を解読整理した。

### 1-2 保存管理事業

#### (1) 指定文化財の保存管理事業

##### ①重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・同旧渋谷家住宅・同旧鶴岡警察署庁舎の防災設備（自動火災報知設備・消火設備・避雷設備）、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

##### ②名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

##### ③国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手入れ等を実施した。

##### ④史跡松ヶ岡開墾場内の一一番蚕室(松ヶ岡開墾記念館)の管理運営（入館者対応・建物内清掃業務等）を平成31年4月に鶴岡市教育委員会から受託し、通年を通して開館した（入館者状況は別紙資料を参照）。

#### (2) 博物館資料の保存管理事業

##### ①歴史的建造物等の保存管理

御隱殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備の保守点検を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を2回実施し、また地震などの災害時にに対する予防・災害対策を定期的に確認した。

##### ②博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装・冊子資料の補修・修理、手入れなどを実施した。また、寄贈申込みのあった資料や作品について適正な受け入れと資料台帳の整備を進めた。

### ③松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

松ヶ岡にある重要有形民俗文化財庄内の米作り用具収蔵庫の資料保存整理を行った。また、松ヶ岡開墾記念館の収蔵・展示中の資料のリスト作成に協力した。

## 1-3 展示事業

### (1) 常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料及び美術工芸品の一部を入れ替え、説明キャプションの改訂を行った。

## 1-4 教育普及事業

### (1) 講演会・講座事業 他

#### ①公開講演会（日時・場所・内容）

令和3年3月7日(日) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区) 東京友の会の集い・講演会  
講師 佐藤滋氏(早稲田大学名誉教授・千葉県住) 「城下町鶴岡のまちづくり」 開催予定であったが、  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止し、来年度へ延期した。

#### ②土曜講座（日時・講師・演題）

9月12日(土) 山口博之氏(東北学院大学東北文化研究所客員)

「北前船が運んだ焼き物」

参加者32名

10月10日(土) 山田陽介氏(松ヶ岡開墾場理事) 「藩校致道館の漢詩人」

参加者28名

11月14日(土) 岩崎真幸氏(みちのく民俗文化研究会代表)

「南東北の民俗宗教～福島県の浜下り習俗～」

参加者16名

#### ③中国古典講座

4月～12月の毎月7日 計8回開催予定 (中国古典「論語」の講義並びに「詩經」の素読、講師:犬塚幹士当館顧問(講義) 水野貞吉莊内南洲会理事長(素読) であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

#### ④古文書講座「もんじょ部」

日時 10月～翌年3月まで月1回程度開催 計7回

内容 『出羽庄内酒井家文書目録』所収の古文書をテキストに古文書の読み方の解説や輪読、  
また当館所蔵文書の整理を行った。

講師 菅原義勝主任学芸員 受講生6名 延出席人数33名

#### ⑤その他

① 館報「致道」57号(5000部) 令和3年2月発行

② 『大泉叢誌(7)』(300冊) \*前述令和3年3月31日発行

## (2) 伝統文化普及事業

①各流合同茶会 4月19日(日) 表千家・裏千家・遠州流・大日本茶道学会による合同茶会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

②少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共に)

5月下旬～8月上旬にかけて計15回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

③「令和2年度東北文化の日推進事業」の参加 (事務局 山形県県民文化部 一課内)

「東北文化の日」(10月最終の土・日曜日)に合わせ、10月31日～11月29日の土・日曜日の小学生を入館料無料 参加数 計113名

④刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)及び庄内民俗学会の例会の会場として会議室等を提供(9月～3月)。なお、姉様人形教室(庄内姉様人形保存会主催)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

### (3) 教育啓蒙事業

- ①ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月～11月・3月を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を中止した。
- ②博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 8月7日～8月12日  
実習生／京都女子大・東北芸術工科大学・新潟大学・駒澤大学の大学生 計5名  
実習内容／美術工芸品(掛軸・巻物・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、古文書資料の整理と保存、拓本技法、美術展の企画と著作権、近隣文化施設見学等
- ③先賢を偲ぶ会 令和3年2月14日(日)於：旧警察署1階ホール  
内容／挙式、講話 堀 誠氏(松ヶ岡開墾場理事長)「松ヶ岡開墾150年を迎えて」参加者32名
- ④東京友の会の集い 令和3年3月7日(日)於：タワーホール船堀(東京都江戸川区)にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。(前出)
- ⑤博物館資料や郷土史関係等の相談助言 通年 相談件数20件  
相談内容／書跡・古文書の解説や酒井家文書及び刀剣の保存などに関すること
- ⑥庄内民俗学会・日本美術刀剣保存協会庄内支部など学術学会の活動に協力
- ⑦広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙 通年  
各種事業の実施にあたっては、新聞・テレビ・地域情報誌などの報道機関や鶴岡市広報などに情報提供を行い、取材協力依頼につとめた。また、類似施設や市内各所へ広報印刷物を送付し、広報の協力を依頼した。新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った。特にSNS(主にツイッター)を利用し、各種情報発信のみならず、館の魅力を伝えることに努め、好評を得た。

## 1-5 調査研究事業

- (1) 文化資源調査事業(前出)
- (2) 庄内地方の歴史資料・考古資料・民俗資料・美術資料の調査研究整理
- (3) 和歌・俳諧資料の調査協力

## 2. 公益目的事業2 (事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業)

### 2-1 展示事業

- (1) 企画特別展示事業(主催事業) 於：美術展覧会場  
☆印：山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催、△印：日本美術刀剣保存協会庄内支部共催  
①☆山口吉彦アマゾンコレクション Sonhos de Amazonia -ともに生きる森-  
4月3日～5日・5月11日～6月8日(32日間)  
入場者数：一般 976名／児童生徒学生 69名／合計 1,045名  
文化人類学研究者の山口吉彦氏(鶴岡市出身、85歳)が幼少時代から夢に見た南米アマゾン。種の宝庫の森に生きる人々が織りなす「自然と文化の調和」を題材に、同氏が収集した2万点余の中からアマゾン固有の動物や昆虫の標本、先住民の生活工芸と日用品を精選し、200点余を展示した。期間中、山口吉彦氏・考彦氏のギャラリートークを行った。緊急事態宣言により約1ヶ月間臨時休館し会期を変更して実施した。休館中にVR(バーチャリティ)

展示の開設準備を行い、コロナ禍により来館することが難しい状況にある方々へも展示を供した（開設期間 4月下旬から翌 3月末）。

②☆白幡進回顧展 －「内なる月山」を描き続けた画人の軌跡 5月 16 日～6月 10 日（26日間）  
緊急事態宣言に伴う臨時休館や、県外への移動を制限されたことにより、事業を次年度へ延期することとした。

③☆創立 70 周年記念【庄内の美術工芸】武っと美！名品展 6月 13 日～7月 28 日（46日間）  
入場者数：一般 3,183 名／児童生徒学生 285 名／計 3,468 名  
侍、僧侶、百姓…、人々が愛で、祈り、今に伝えた名品に酔いしれるひととき。庄内藩主酒井家伝来の国宝・重要文化財の刀剣・甲冑や茶道具類・仏像・能装束など庄内が誇るべき名品 40 点を紹介した。主な出品に国宝太刀銘真光、重文短刀銘吉光、同色々威胴丸、県文如意輪観音坐像や同狩衣や唐織（黒川能装束）、同旧藩校致道館祭器など。期間中、ギャラリートークを実施した。

④☆創立 70 周年記念【庄内の日本遺産】日本遺産 庄内、悠久の歴史—Shonai Heritage—  
8月 1 日～9月 14 日（45日間）

入場者数一般 2,922 名／児童生徒学 417 名／計 3,339 名  
日本遺産（Japan Heritage）は、文化庁が認定した地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーで、鶴岡市は 2016～19 年にかけて①自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』（出羽三山）、②サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ、③荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～と 3 つの日本遺産の認定を受けた。これら庄内地域の歴史を辿りながら、「地域性とは何か」をテーマに紹介した。期間中、ギャラリートークを開催した。

⑤☆創立 70 周年記念【庄内の絵画・書蹟・歴史】筆紙の!! 名品展 9月 17 日～10月 28 日（29日間）  
入場者数：一般 4,705 名／児童生徒学生 1,215 名／計 5,920 名  
描く、書く、記録する。作品から伝わる作者の“心”、情報を伝える記録者の“意志”。庄内地方に伝来し現在に遺る絵画や書蹟、歴史資料の数々は数百年の時を経た今も私たちを魅了し、探究心を掻き立てている。本展には重文「禅院額字潮音堂」をはじめ、豊 34 枚分の大きさをもつ県文「出羽一国之絵図」、同「長福寺三千仏」、同「松森胤保両羽博物図譜」、重要美術品や鶴岡・酒田市文化財指定資料も含め 36 点を出品した。期間中、ギャラリートークを開催した。

⑥☆◇日本名刀展シリーズ 幕末の刀工 藤原清人 10月 31 日～11月 28 日（42日間）  
入場者数：一般 3,859 名／児童生徒学生 1,230 名／計 5,089 名  
藤原清人（文政 10 年：1827～明治 34 年：1901）は湯温海生まれ、本名・斎藤小市郎。嘉永 5 年（1852）江戸に出て、「四谷正宗」と称された名工・源清麿に師事した。後に幕末期の庄内藩お抱えの刀工となり、朝廷に献刀し「豊前守」を任せられ活躍。本展は幕末から明治初期の作刀をはじめ、師匠・清麿や弟子・清丸の作刀など 30 振、幕末期に隆盛を極めた「庄内金工」による刀装具や清人の関連資料を出品した。期間中、山形在住の上林刀匠による実演や初心者向けの刀剣鑑賞講座も実施した。

⑦☆創立 70 周年記念【庄内の考古・民俗】庄内探究モノがたり  
12月 19 日～R3.2 月 14 日（43日間）  
一般 755 名／児童生徒学生 171 名／計 926 名  
庄内地方で近年出土した考古資料を中心に「縄文時代、小山崎遺跡とその周辺」から「奥羽人類学会と庄内考古学」の 7 つのテーマで展示した。また民俗資料も「飛島図絵」など近世から近代にかけて記録された資料や戸川安章ら黎明期の民俗研究を紹介するとともに、8 種類の重要有形民俗文化財指定資料など考古・民俗資料計 180 点余を出品した。期間中、ギャラリートークを開催した。

- ⑧☆～小さな窓から大きな世界を～ 磯貝吉紀 ドールハウスの魅力  
2月19日～3月31日（40日間）※展示は4月20日まで  
入場者数：一般2,959名／児童生徒学生610名／計3,569名  
ドールハウス作家・研究家の第一人者であった磯貝吉紀（1933-2011）の館蔵作品を一堂に出品した。愛娘のために制作した「けいこの家」並びにドールハウス仲間であった花見郁代氏が装飾した作品3点を特別展示。また、闘病中に制作していた未完の遺作「テレビ局のスタジオ（仮称）」を初公開、計42点を出品した。会期最終日に、遺作及びアトリエの机等の寄贈式を行った。
- ⑨☆ 第27回 鶴岡雛物語 於：旧庄内藩主御隱殿 3月1日～4月4日（35日間）  
入場者数：一般2,844名／児童生徒学生489名／計3,333名  
城下町鶴岡に伝わる古典雛を広く紹介し、昔ながらの日本伝統行事や文化を再認識する。旧庄内藩主酒井家や市内旧家で所蔵している江戸時代中期から明治時代にかけての雛人形や、大名家へのお輿入れに持参した雛道具を展観、併せて鶴岡市内の菓子店の協力によって当地方独特の雛菓子も一堂に展示、菓子職人の技を楽しみながら、子供の健やかな成長を願って開催した。
- (2) 個展・グループ展示事業 於：美術展覧会場
- ①第41回 鶴岡書道会会員展（共催） 12月1日～12月14日（12日間）  
入場者数：一般379名／児童生徒学生98名／計477名  
昭和8年に設立された鶴岡市にあり流派を越えて活動する書道団体。会員の作品37点を展示了。例年実施していた鶴岡市の友好都市である江戸川区の書道連盟幹部の賛助出品は行われなかった。
- (3) ロビー展示事業 ※主催は各団体 於：講座室・ロビー
- ①第16回 庄内姉様人形教室受講生作品展 10月29日～30日（3日間）開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止した。
- ②第13回「砂の会」作品展 10月31日～11月5日（6日間）  
加藤景一氏が主宰する「砂の会」会員3名が制作した作品計30点を展示、砂を素材にした砂絵や立体作品など個性豊かな作品発表の場とした。
- ③第14回 寒蘭展（鶴岡東洋蘭同好会と共に） 11月19日～11月24日（6日間）  
鶴岡東洋蘭同好会の会員が育てている日本蘭と中国蘭の寒蘭約40鉢を展示、東洋蘭の清楚な美と匂いを鑑賞した。
- ④第16回 東洋蘭展（鶴岡東洋蘭同好会・里仁館芳蘭会と共に） R3.3月16日～3月21日（6日間）  
日本春蘭と中国春蘭あわせて約100鉢、蘭に因む掛軸額装作品2点を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会と里仁館芳蘭会の両会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。
- ## 2-2 教育普及事業
- (1) 講演会・講座事業
- ①企画特別展列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、公開実演
- 6月7日（日） 於：展示会場 「山詩アマゾンコレクション Sonhos de Amazonia -ともに生きる森-」展  
ギャラリーツアー 講師：山口吉彦氏・山口考彦氏 参加者計20名
- 7月11日（土）/7月19日（日） 於：展示会場 「武っと美！名品展」展  
ミニギャラリートーク 講師：本間豊学芸部長 参加者計50名
- 8月22日（土）/8月30日（日）/9月5日（土） 於：展示会場 「日本遺産 庄内、悠久の歴史展」ミニギャラリートーク 講師：佐藤淳主任学芸員 参加者計65名

9月 26 日(土)/10月 4 日(日)/10月 17 日(土)/10月 25 日(日) 於: 展示場会議室  
「筆紙の !! 名品展」 講師: 菅原義勝主任学芸員 参加者計 87名

10月 31 日(土) 於: 展覧会場 「幕末の刀工 藤原清人展」 ギャラリートーク  
講師: 上林恒平刀匠・本間豊学芸部長 参加者計 45名

11月 8 日(日)/11月 22 日(日) 於: 旧鶴岡警察署庁舎一階ホール 「幕末の刀工 藤原清人展」  
「はじめての刀剣講座~鑑賞からお手入れ方法まで~」  
講師: 矢口秀春氏 (日本美術刀剣保存協会庄内支部理事) 参加者計 55名

11月 15 日(日)/11月 29 日(日) 於: 展覧会場 「幕末の刀工 藤原清人展」  
上林恒平刀匠による「円座(藁製の敷物)」の制作実演

R3. 1月 23 日(日) /1月 30 日(土) 於: 展覧会場 「庄内探究モノがたり展」 ギャラリートーク  
講師: 酒井英一参与・菅原義勝主任学芸員・本間豊学芸部長 参加者計 46名

※日本美術刀剣保存協会庄内支部との共催事業として  
10月 31 日(土) 於: 御隱殿 斎藤清人碑前祭 祭礼ほか 参加者 計 35名

## (2) 出版事業

各展覧会出品目録・リーフレット・ポスター・ポストカード等

## (3) 広報事業

### ①広報活動 企画展の広報活動

各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に努め、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った。

## 3. 公益目的事業 3 (事業内容~国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)や鶴岡市指定文化財大宝館の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業)

### 3-1 史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存管理活用事業

指定管理制度により、鶴岡市教育委員会との契約によって管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用を図った。

#### (1) 施設保存管理事業

##### ① 外構管理

除草・清掃、芝刈り、生垣の剪定、樹木の剪定・整枝・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理、泮池の清掃・浄化を行った。

##### ② 建造物管理

講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常点検・清掃、防災設備(自動火災報知器・消火器)の保守点検を実施した。

平成 25 年度から夜間及び休館日の防犯等は、警備保障会社へ委託して行った。消防訓練は 1 回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

利用者の安全・安心を確保するために「旧致道館危機管理マニュアル」の徹底を図っている。

## (2) 展示事業

- ① 藩校致道館の沿革・教育・制度・釈奠・施設などに関する資料を展示、随時キャプションの改訂を行った。
- ② 御入間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語の素読」をBGMで流した。
- ③ 「庄内藩と戊辰戦争、徳の交わり」の展示を引き続き行った。

## (3) 普及教育事業

- ① 藩校致道館教育体験教室・講座  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。
- ② 「孔子祭・致道館の日」式典（主催：致道館文化振興会議）  
9月26日（土）於：莊内神社参集殿（新型コロナ感染症拡大防止のため会場変更）  
内容／祭典・祝文奉読・論語素読・講経、講演、児童生徒論語体験作文発表会

### ③ 研修会・講座（主催・各種団体）

10月 1日	山形県青少年専門員研修会	7名
10月 22日	宮城県石巻市議会議員行政視察	13名
10月 24日	藤沢周平記念館研修会	30名
10月 30日	鶴岡市役所新採職員研修会	33名
10月 31日	鶴岡アートフォーラムサポーター研修	15名
11月 20日	山形職業能力開発専門校研修会	14名
4月～3月	三瀬保育園年長組「庄内論語の素読」 年間5回	延べ110名
1月 19日	城南幼稚園年長組「庄内論語の素読」 講師 富樫恒文統括文化財保護指導員	37名 以上受講者 計259名

※その他、小学校修学旅行6校（県内）、中学校修学旅行4校（県内1校、県外3校）

### ④ 学校の授業への協力

- 学校の授業として（「藩校致道館についての学習」と「庄内論語の素読」）で活用  
講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 鶴岡市内26校中14校16学年の児童750名
- ⑤ 観察・来館者に対する藩校致道館に関する解説説明、助言相談
- ⑥ 旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』を多く頒布した。
- ⑦ 朝陽第三小学校 「日本文化伝統クラブ」庄内論語の素読 講師
- ⑧ 山形大学農学部 「地域から学ぶ 致道館の教育精神と学びの継承」講師
- ⑨ 広報活動  
新聞・テレビ等の報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に対応した。

## 3-2 鶴岡市指定文化財大宝館の保存管理活用事業

指定管理者制度により鶴岡市教育委員会と契約を結び、管理運営受託法人として大宝館の管理運営を行い、市の有形文化財の保存活用を図った。

### (1) 施設保存管理事業

- ① 外構管理 建物（玄関）周囲の草むしり、玄関脇と県道沿いの「大宝館説明板」の清掃
- ② 建造物並びに館内管理
  - ・建物周囲点検、高山櫻牛誕生の間、横光利一と千代の部屋、中田喜直ピアノ日常清掃、防災設備（自動火災報知機・消火器）の保守点検を実施した。
  - ・夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。
  - ・消防訓練は1月29日に実施し、予防災害対策を確認した。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の対応  
鶴岡市内で新型コロナウイルス感染者が発生したため、4月6日（月）から5月10日（日）まで臨時休館となり、5月11日（月）より再開した。入館者への対応や新型コロナウイルス感染症対策について以下の通り実施した。受付にて入館者へ連絡先記入のお願い、手指消毒液の設置、館内の換気、受付カウンターや手摺等の消毒、順路パネルの設置、新型コロナウイルス感染症対策ポスターの掲示、当面の展示解説中止、振舞万力の使用禁止

## (2) 展示事業

### ①第43期常設展示（令和2年4月2日～令和3年3月30日）

新たにドイツ文学者・相良守峯を加え、全国的に高い知名度や顕著な業績を残した32名の人物の展示を行った。

【展示終了人物】藤沢周平（文学）、第28代行司 木村庄之助（篆刻）、伊藤岩吉（篆刻）

【移動展示人物】五十嵐與七（篆刻）、中田喜直（篆刻）横光利一 1階展示（写真）、森敦（写真）、本多猪四郎（写真）第47代横綱柏戸（篆刻）

### ②第43期企画展示

・「鶴岡が生んだ肖像写真家 五十嵐與七の生涯」（令和2年4月2日～令和3年3月30日）

肖像写真家・五十嵐與七 明治18年（1885）～昭和42年（1967）日本の肖像写真の第一人者として、技術と経営両面で写真界の最高峰を歩み続けた五十嵐與七の生涯を紹介すると共に撮影した著名人の肖像写真を公開した。

・第42期から継続の企画展示「明治維新150年～新たな時代の開拓者たち～」

### ③第5期横光利一展示 「夜の靴・終焉・その後」

2階展示室において4期「旅愁のころ」から5期「夜の靴・終焉・その後」へ展示替えを実施。また、2階集会室に常時展示しているパネル「夜の靴・舞台マップ」、「全国横光利一文学碑一覧」を新しい情報を加え作成展示した。

## (3) 普及教育事業

### ①イベント

・今年度の夏休みイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催しなかった。

・大宝館ブルーライトアップ ↗ 「医療従事者応援プロジェクト」（6月15日～7月12日）  
「世界糖尿病デー」（11月12日～18日）／「医療従事者への応援と感謝の気持ちを込めて」  
(12月23日～翌年2月28日)

②広報活動 ↗ 新聞・テレビ・コミュニティー誌など報道機関への資料提供や取材協力  
依頼に務め、周知を図った。

③配布印刷物関係 「第44期大宝館展示」

④その他 人物調査、関連人物情報のスクラップ

## 4. 収益事業 1 （事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍 やグッズ等の販売）

### 4-1 収益事業

#### (1) 博物館関連商品販売等事業

受付に隣接して書籍等コーナーを作り販売を行った。

旧鶴岡警察署を図柄にし、プリントしたトートバッグ（10色展開）、同Tシャツ、ドールハウス及び雑人形クリアファイル（A5判）などのオリジナルグッズを作成し販売した。

#### (2) その他

企画展にあわせて書籍や関連商品を選定し、委託（一部買取）販売を行い、入館者の満足度を高めるように努めた。

# 庶務の概要

令和3年3月31日現在

## 1. 役員に関する事項

順不同・敬称略

役員名	氏名	備考	役員名	氏名	備考
(理事 11名)			評議員	上林 恒平	刀剣・山形県指定無形文化財保持者
代表理事	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会会長	〃	菅野 滋	(公財)山形美術館館長
理事	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会会長、前ほとりあ館長	〃	小林 功	白雲社委員長
〃	国井 美保	端主交伝鑑賞研究室理事	〃	今田 安彦	(株)きらやか銀行鶴岡中央支店長
〃	酒井 天美	学校法人城南学園理事長	〃	佐賀井 仁	田川地区高等学校長会代表(鶴岡北高校長)
〃	酒井 忠順	(公財)本間美術館評議員・東北公文大辞叢員	〃	高橋 剛文	山形県立博物館長
〃	田中 章夫	(公財)本間美術館館長	〃	布川 敦	鶴岡市教育委員会教育長
〃	田中 茂雄	(公財)東北振興研修所理事	〃	橋本 政之	鉄道文化振興会議会長
〃	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会会长	〃	本間 謙三	(公財)本間美術館代表理事
〃	本間 豊	(公財)教育博物館芸芸部長	〃	堀 誠	松ヶ岡開拓団理事長
〃	三浦 裕美	鶴岡市教育委員会社会教育課長	(監事 2名)		
〃	三矢 正士	鉄道文化振興会議事務局長	監事	氏家 昇一	拾圓(株)代表取締役会長
(評議員 15名)			〃	本間 厚	税理士
評議員	石原 純一	鶴岡観光協会会长	(顧問 3名)		
〃	上野 隆一	出羽商工会会長	顧問	皆川 治	鶴岡市長
〃	大沼 賀世	県文化財審議員・寒河江市文化財審議員	〃	田中 尚	前鶴岡鐵物工業協同組合理事長
〃	加藤 捷男	鶴岡信用金庫会長	〃	犬塚 幹士	前鶴岡市文化財保護審議会会长
〃	金井 昌弥	(株)莊内銀行取締役・常勤等委員			

## 2. 役員会に関する事項

### ■理事会

開会月日	議事内容	会議の結果
令和2年6月8日 (書面決議)	(1)平成31年度事業報告の件 (2)平成31年度収支決算の件 (3)平成30年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び平成31年度同事業収支予算の件 (4)令和元年度国宝重要文化財管理費補助事業報告及び決算、並びに令和2年度同事業計画及び予算(案)承認の件 (5)特定資産(1000万円)取り崩し(案)承認の件 (6)定時評議員会開催の日時・場所・議案(案)承認の件 (7)任期満了につき評議員推薦(案)承認の件 (8)評議員補充候補者推薦の件	可決承認 可決承認 可決承認  可決承認  可決承認 了承 了承 了承
令和3年1月28日	(1)令和2年度補正予算の件 (2)令和3年度事業計画の件 (3)令和3年度収支予算の件 (4)令和3年度彌敷樹西田川郡役所(建物)保存修理事業(災害)の件 (5)彌敷樹西田川郡役所(建物)保存修理工事(災害)指名競争入札参加業者選定の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認

■評議員会

開会月日	議事内容	会議の結果
令和2年6月26日	(1)議事録署名人選出の件 (2)平成31年度事業報告の件 (3)平成31年度収支決算の件 (4)特定資産(1000万円)取り崩し承認の件 (5)任期満了につき評議員選出承認の件 (6)理事補充選任の件 ※理事会決議事項 ①令和2年度国指定文化財管理費補助事業計画及び収支予算の件 ②令和2年度重文旧西田川郡役所美観向上整備事業計画及び収支予算の件 ③令和2年度重文旧西田川郡役所(附註)保存修理事業(賛助)の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 了承 了承 了承

■執行役会議 每月1回開催（4月9日、5月1日、5月28日、7月10日、8月7日、9月10日、10月9日、11月10日、12月9日、令和3年1月15日、2月12日、3月9日） 計12回

■監査 6月2日(平成31年度会計監査)

3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛所	内 容	備考
4月 1日	山形県知事	令和2年度山形県博物館共催事業申請書	4月1付で認可
〃	〃	令和2年度山形県博物館共催事業負担金交付申請書	4月5付で交付決定
〃	鶴岡市教育委員会	令和2年度教育関係事業(致道博物館展示事業)共催承認申請書	4月1付で承認
〃	鶴岡市長	令和2年度致道博物館展示事業共催負担金交付請求書	
〃	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	令和2年度文化団体等連携支援事業(展覧会事業)共催申請書	4月1付で認可
〃	〃	令和2年度文化団体等連携支援助成金交付申請書	4月1付で交付決定
〃	鶴岡市長	令和2年度補助金等交付申請書(令和2年度鶴岡市文化資源調査保存事業)	4月1付で交付決定
〃	山形県知事	令和2年度国指定文化財(旧西田川郡役所/旧渋谷家住宅/酒井氏庭園/旧鶴岡警察署庁舎)管理費補助事業申請書(4件)	4月1付で交付決定
〃	鶴岡市長	平成31年度国指定文化財(旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園)管理費補助事業申請書	
〃	山形県知事	令和2年度山形県文化財保護事業補助金交付申請書(重文旧西田川郡役所(建造物)保存修理事業(災害復旧))	
〃	鶴岡市長	令和2年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書(重文旧西田川郡役所(建造物)保存修理事業(災害復旧))	
〃	〃	普通・行政財産借受申請書・財産貸付料減免申請書(松ヶ岡開墾場4番蚕室収蔵の開墾・農業関連資料、農具等の保管)	
4月15日	鶴岡市長	平成31年度補助金保存事業実績報告書(鶴岡市文化資源調査保存事業)	
4月23日	文化庁長官	令和2年度文化資源活用事業補助金(観光拠点整備事業)交付申請書(重要文化財旧西田川郡役所美観向上整備事業)	6月1付交付状通知
4月26日	山形県知事	平成31年度山形県博物館共催事業実績報告書	5月29付交付認定
〃	鶴岡市長	平成31年度致道博物館展示事業実績報告書	
3月31日付で提出	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	令和2年度文化団体等連携支援事業実績報告書	5月31付交付認定

4月30日	鶴岡市消防長	防火体制に関する意見書の提出(お願い)	5月11日付で交付
5月20日	山形県教育委員会	所在の場所変更届 ('武っと美!名品展'出品の県文太刀無銘伝千住院他計8件)	6月2日付で受理
5月20日	鶴岡市教育委員会	所在の場所変更届 ('武っと美!名品展'出品の市文木造勢至菩薩座像他計7件)	
6月 1日	山形県知事	令和2年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書 (重要文化財旧西田川郡役所保存修理事業(美観向上))	6月3日付で交付決定
"	鶴岡市長	令和2年度鶴岡市文化財保護事業費補助金交付申請書(同上)	6月1日付で交付決定
6月 4日	致道博物館理事・監事	致道博物館理事会のご案内(書面決議一同意書)	
6月 9日	致道博物館評議員	致道博物館評議員会のご案内(書面決議一同意書)	
6月14日	山形県知事	所有者変更届(鶴岡市上野氏・仙台市秋野氏の寄贈刀剣:薙刀・刀・短刀)	
"	宮城県教育委員会	所有者変更届(仙台市秋野氏の寄贈刀剣:わきざし)	
6月21日	(公財)山形県生涯学習文化財団	令和2年度文化団体等連携支援助成金請求書	
6月24日	致道博物館評議員	評議員就任のお願い及び就任承諾書他提出のお願い	
"	致道博物館理事	理事就任のお願い及び就任承諾書他提出のお願い	
7月 6日	鶴岡市長	令和2年度補助金等状況報告書(令和2年度鶴岡市文化資源調査保存事業-7月中間報告)	
7月10日	文化庁長官	計画変更承認申請書 (令和2年度文化資源活用事業費補助金 観光拠点整備事業)	9月1日付で承認増額通知
7月16日	鶴岡市教育委員会	所在の場所変更届 ('日本遺産、庄内、悠久の歴史展'出品の市文山伏笈他計2件)	
7月21日	鶴岡市消防長	消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書(自動火災報知設備)	7月21日付受付
8月17日	山形県教育委員会	所在の場所変更届 ('筆紙の!名品展'出品の県文長福寺三千仏他計4件)	8月24日付受付
9月 1日	山形県知事	令和2年度山形県文化財保護事業費補助金事業計画変更承認申請書 (重文旧西田川郡役所保存修理事業(美観向上))	9月1日付で承認増額通知
"	鶴岡市長	令和2年度補助事業等変更申請書(重文旧西田川郡役所保存修理事業)	同上
10月 2日	山形県教育委員会	令和2年度山形県国指定文化財(略)管理費補助事業の状況報告	
10月 5日	山形県教育委員会	令和2年度山形県文化財保護事業費補助状況報告(重要文化財 (建造物) 旧西田川郡役所保存修理事業(美観向上))	
"	"	令和2年度山形県文化財保護事業費補助状況報告(重要文化財 (建造物) 旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧))	
10月10日	鶴岡市長	令和2年度補助金等状況報告書(令和2年度鶴岡市文化資源調査保存事業-10月中間報告)	
10月28日	鶴岡市消防長	消防用施設等(自動火災報知設備他)点検報告書(庄内米作り収蔵庫)	10月28日付で受付
11月22日	山形県知事	所有者変更届(鶴岡市・長谷川氏寄贈刀剣:鎧・脇指・刀・短刀:計6振)	
11月24日	山形県知事	所在の場所変更届 ('庄内探究モノがたり展'出品の県文生石2遺跡出土弥生土器計4件)	12月3日付受付
11月25日	"	令和2年度山形県博物館共催事業負担金事業計画変更承認申請書	11月25日付承認
"	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	令和2年度文化団体等連携支援助成金事業計画変更承認申請書	R3.1月5日付で承認
12月21日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(今年度第1回防火訓練実施計画)	12月21日付で受付

12月21日	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請書(重要文化財旧渋谷家住宅内の囲炉裏で火焚き煙出し作業をするための承認申請書)	12月22日付で承認
R3.1月10日	鶴岡市長	令和2年度補助金等状況報告書（令和2年度鶴岡市文化資源調査保存事業-中間報告）	
1月11日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(第67回文化財防火デー/第2回防火訓練実施計画)	1月11日付で受付
1月12日	鶴岡市教育委員会	文化財に係る国庫補助事業における新型コロナウイルス感染症に伴う今後の対応について（文化庁からの指導指針）	
1月25日	文化庁長官	令和3年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金交付申請書 -重文(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)	
2月 1日	鶴岡市消防長	変電設備 設置届出書（屋外キューピクル）	2月1日付で受理
2月17日	山形県 文化振興・文化財課長	文化財建造物における火気管理の徹底について（通知） (文化庁からの指導指針)	
2月18日	〃	重要文化財き損の届出（重文旧渋谷家住宅：2/15夜～16早朝にかけての暴風による屋根損傷の報告）	
2月19日	〃	重要文化財き損の届出（重文旧鶴岡警察署庁舎：2/13発生の福島県沖地震による漆喰壁被害の報告）	
〃	山形県知事	所在の場所変更届（「庄内探究モノがたり展」出品の県文生石2遺跡出土弥生土器計4件／移動期間の延長のため）	3月22日付受理
3月 3日	鶴岡市消防長	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検報告書（動力ポンプ）	3月3日付受理
3月26日	山形県知事	令和2年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書(国文化財4件)	4月8日付確定印
3月26日	鶴岡市長	令和2年度補助金等実績報告書 (鶴岡市国指定文化財管理費補助事業-国文化財4件)	4月1日付確定印

#### 4. 資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
2月11日～5月10日	旧藩校致道館	展示資料として白井重思筆五言詩「鳳凰五采文」 1点
1月31日～6月11日	刀剣博物館	特別展「日本刀の見方パートⅢ 刀文」に国宝太刀銘信房作 1口
4月1日～R3.3月31日	県立金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 18点
4月1日～R3.3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 31点
4月1日～R3.3月31日	山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器深鉢 1点
4月1日～R3.3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展[最上川は語る]にハネバンドリ 1点
4月1日～R3.3月31日	(公益)日本相撲協会 相撲博物館	泉淹福治使用の化粧廻し 1点
5月11日～7月25日	旧藩校致道館	展示資料として庄内藩校致道館版「毛詩」 1点
7月7日～11月10日	仙台市歴史民俗資料館	企画展「わらと生活」展にバンドリ、ニセミノなど 計5点
7月23日～10月1日	旧藩校致道館	展示資料として菅基書「李白 七絶 遊洞庭湖」 1点
8月3日～12月15日	県立うきたむ風土記の丘考古資料館	「水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形」展飛鳥・蕨山遺跡出土深鉢土器2点
8月21日～12月6日	上山市立上山城	「山形の相撲」展に28代木村庄之助の行事装束・軍配。計2点
9月8日～12月19日	東京国立博物館	「桃山一天下人の100年」展に、国宝太刀銘真光附糸巻太刀拵、重文色々威胴丸計3点
10月2日～12月24日	旧藩校致道館	展示資料として水野元朗筆書翰（加藤大式宛） 1点
11月26日～	鶴岡市郷土資料館	「酒井玄蕃展」に酒井玄蕃関係資料（掛軸7・書状2・冊子2）14点
11月24日 ～R3.3月19日	国立近現代建築資料館	企画展「日本のたてものー自然素材を活かす伝統の技と知恵」に鶴岡警察署建築絵図、製図道具、『西洋雑形』 計6点

12月25日～3月22日	旧藩校致道館	展示資料として菅基筆「西王母」 1幅
1月17日～3月26日	鶴岡アートフォーラム	「庄内の美術家たち16 生誕100年 伊藤喜久井展」に、伊藤喜久井《花の女》《立雛図》《こたつの母子》他 計5点
3月23日～	旧藩校致道館	展示資料として白井西郭筆七言絶句「黄河曲裡」 1点

## 5. その他の活動

月 日	主な事項
4月 6日	新型コロナウイルス感染拡大防止につき、臨時休館となる（5月10日まで）。職員在宅勤務。
5月11日	開館、見学者の新型コロナウイルス感染防止のために施設内にアルコール消毒液を設置する。
5月19日	山形県観光文化スポーツ部文化振興文化財課（2名）より令和2年度山形県博物館事業（展覧会事業）共催負担金の会計検査が行われた。
5月18日	名勝酒井氏庭園近接で茶室西側の赤松大木、枝枯れ等のため業者より伐採した。
6月 9日	展示場に防犯用監視カメラを設置した。
6月19日	文化庁・伊東哲夫調査官（美術工芸）来館し、所蔵の国宝太刀・重文胴丸など視察。
7月 9日	文化庁・番光調査官（建造物）来館、重文旧西田川郡役所災害復旧工事について協議・視察。
8月 3日	重文旧渋谷家住宅の茅葺き屋根の差し茅作業始まる（8/7まで）。
8月13日	入館者の出入口に新型コロナウイルス感染拡大防止用の体温計測の検温器設置。
8月23日	東京都江戸川区在住の原科成美・一枝夫妻より彫刻寄贈され、展示場入口に設置。
9月12日	麻生太郎副総理・財務大臣一行来館。
10月14日	版画家山本容子氏一行来館。
10月16日	重文旧西田川郡役所前で、山形県沖地震による保存修理事業（災害復旧）の耐震診断のためのボーリング調査を行う（10月23日まで）。
10月31日	刀匠藤原清人碑前祭（日本美術刀剣保存協会庄内支部主催／御隱殿にて）。
12月27日	第1回防火訓練（避難・通報訓練） 11名参加。
R3.1月9日～10日	終日積雪で「大雪」となり、構内積雪100cmに達した。後日民家雪囲い他に被害が生じた。
1月12日	重文旧渋谷家住宅内にて冬期保存活動のため「火焚き」作業開始（3月16日まで）。
1月26日	第2回防火訓練（総合訓練） 11名参加。
2月 5日	友の会世話人会 20名出席。
2月14日	午後11時8分に福島県沖地震が発生し、重文旧鶴岡警察署庁舎内一部に被害が生じた。
2月16日	前日の夜から早朝にかけて暴風による多層民家の茅葺き屋根に被害が生じた（4月28日改修）。
2月22日	民具の蔵他 LED照明設置工事始まる。
3月 3日	旧鶴岡警察署門柱（駐車場隣接）に、市道工事車両が接触したため上部外した（4月23日改修）。
3月15日	ミュージアムショップに「PayPay」を導入し、キャッシュレス化を推進した。
3月26日	重文旧西田川郡役所保存修理事業（災害復旧）の耐震診断結果の報告・協議。

資料一 入館者数(月別) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各施設4/6～5/10臨時休館

■致道博物館

(単位:名)

月	年度	一般			学生		小中学生 有料者	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会			
4月	2年度	108	0	95	13	0	10	9	235
	前年度	3,669	452	653	114	44	247	64	5,243
5月	2年度	241	0	197	6	1	19	36	500
	前年度	5,168	837	817	188	113	479	68	7,670
6月	2年度	835	0	310	32	127	25	50	1,379
	前年度	2,429	1,092	497	54	16	61	43	4,192
7月	2年度	1,876	135	320	55	11	64	67	2,528
	前年度	2,188	740	477	59	41	173	108	3,786
8月	2年度	1,636	137	235	92	41	122	30	2,293
	前年度	3,353	505	599	173	4	279	155	5,068
9月	2年度	2,170	21	246	117	40	254	86	2,934
	前年度	3,518	961	430	117	4	63	104	5,197
10月	2年度	2,604	432	324	68	214	885	157	4,684
	前年度	4,775	1,213	523	178	63	275	69	7,096
11月	2年度	2,617	644	310	93	2	1,131	161	4,958
	前年度	2,929	1,217	538	76	37	707	140	5,644
12月	2年度	333	84	130	96	4	7	20	674
	前年度	644	182	277	16	0	113	46	1,278
1月	2年度	108	0	122	16	5	51	21	323
	前年度	506	8	257	11	0	113	21	916
2月	2年度	499	0	337	36	0	120	72	1,064
	前年度	711	65	395	34	6	82	20	1,313
3月	2年度	1,645	37	771	147	5	287	95	2,987
	前年度	1,266	84	662	107	3	98	115	2,335
合計	2年度	14,672	1,490	3,397	771	450	2,975	804	24,559
	前年度	31,156	7,356	6,125	1,127	331	2,690	953	49,738

■松ヶ岡観覧施設 ※令和2年度より入館料改定

(単位:名)

月	年度	一般			学生		小中学生	招 待	合 計
		個人	団体	友の会	有料者	友の会			
4月	2年度	2	0		0		0	14	16
	前年度	166	237	198	1	40	12	77	731
5月	2年度	42	0		0			0	42
	前年度	226	339	126	9	0	22	7	729
6月	2年度	117	0		0		7	13	137
	前年度	94	242	108	47	0	2	10	503
7月	2年度	201	0		0		10	12	223
	前年度	86	442	84	1	5	46	0	664
8月	2年度	174	0		1		15	0	190
	前年度	150	203	147	10	9	50	1	570
9月	2年度	214	30		0		7	30	281
	前年度	155	148	91	58	0	2	2	456
10月	2年度	304	41		9		137	9	500
	前年度	99	343	126	19	0	38	5	630
11月	2年度	128	25		0		5	2	160
	前年度	50	338	37	2	0	1	1	429
12月	2年度	22	0		0		0	2	24
	前年度	21	6	14	0	0	1	0	42
1月	2年度	4	0		0		2	23	29
	前年度	16	0	23	0	0	0	6	45
2月	2年度	21	0		0		0	58	79
	前年度	25	0	51	0	0	2	7	85
3月	2年度	59	0		0		6	2	67
	前年度	14	0	27	0	0	0	0	41
合計	2年度	1,288	96	0	10	0	189	165	1,748
	前年度	1,102	2,298	1,032	147	54	176	116	4,925

資料一 入館者数(月別) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各施設4/6～5/10臨時休館

■庄内藩校 敦道館

(単位:名)

月	年度	一般	学生	幼少中	合計
4月	2年度	99	4	6	109
	前年度	3,090	51	143	3,284
5月	2年度	129	0	6	135
	前年度	3,361	66	273	3,700
6月	2年度	394	2	15	411
	前年度	1,981	27	93	2,101
7月	2年度	1,030	8	34	1,072
	前年度	1,925	31	92	2,048
8月	2年度	1,011	22	62	1,095
	前年度	2,607	167	190	2,964
9月	2年度	1,542	4	274	1,820
	前年度	2,592	48	97	2,737
10月	2年度	2,004	8	412	2,424
	前年度	2,963	23	270	3,256
11月	2年度	1,536	2	554	2,092
	前年度	2,211	97	567	2,875
12月	2年度	414	4	8	426
	前年度	996	8	100	1,104
1月	2年度	74	1	46	121
	前年度	918	4	37	959
2月	2年度	191	0	38	229
	前年度	975	42	39	1,056
3月	2年度	549	14	46	609
	前年度	911	32	91	1,034
合計	2年度	8,973	69	1,501	10,543
	前年度	24,530	596	1,992	27,118

■大宝館

(単位:名)

月		一般	学生	幼少中	合計
4月	2年度	106	3	14	123
	前年度	4,753	66	314	5,133
5月	2年度	148	2	14	164
	前年度	3,041	33	313	3,387
6月	2年度	313	5	16	334
	前年度	1,001	1	14	1,016
7月	2年度	773	5	27	805
	前年度	1,166	8	43	1,217
8月	2年度	769	13	37	819
	前年度	1,848	31	191	2,070
9月	2年度	1,192	5	92	1,289
	前年度	1,981	9	92	2,082
10月	2年度	1,357	37	79	1,473
	前年度	1,817	68	72	1,957
11月	2年度	1,120	5	142	1,267
	前年度	1,283	9	36	1,328
12月	2年度	202	4	3	209
	前年度	448	1	9	458
1月	2年度	62	2	8	72
	前年度	414	5	16	435
2月	2年度	214	4	19	237
	前年度	371	4	7	382
3月	2年度	489	10	30	529
	前年度	592	7	72	671
合計	2年度	6,745	95	481	7,321
	前年度	18,715	242	1,179	20,136

資料-2 致道博物館 入館者総数

年度	大人	学生	年度合計		年度	大人	学生	年度合計
昭和25年(1950)	2,071	8,285	10,356	*1	平成元年(1989)	133,415	19,662	153,077
昭和26年(1951)	3,015	8,485	11,500	*2	平成2年(1990)	129,968	23,337	153,305
昭和27年(1952)	5,759	11,590	17,349		平成3年(1991)	132,502	20,541	153,043
昭和28年(1953)	4,903	9,650	14,553		平成4年(1992)	144,907	16,031	160,938
昭和29年(1954)	8,152	31,120	39,272		平成5年(1993)	139,841	15,437	155,278
昭和30年(1955)	11,348	38,363	49,711		平成6年(1994)	148,799	21,524	170,323
昭和31年(1956)	13,806	45,046	58,852		平成7年(1995)	137,810	12,269	150,079
昭和32年(1957)	20,872	39,447	60,319		平成8年(1996)	128,017	9,907	137,924
昭和33年(1958)	25,831	34,825	60,656		平成9年(1997)	111,874	9,177	121,051
昭和34年(1959)	19,937	31,232	51,169		平成10年(1998)	95,757	8,166	103,923
昭和35年(1960)	20,539	29,712	50,251		平成11年(1999)	94,071	6,701	100,772
昭和36年(1961)	23,953	32,764	56,717		平成12年(2000)	85,280	5,819	91,099
昭和37年(1962)	22,178	41,282	63,460		平成13年(2001)	85,185	6,051	91,236
昭和38年(1963)	22,813	39,449	62,262		平成14年(2002)	81,599	5,173	86,772
昭和39年(1964)	21,321	37,016	58,337		平成15年(2003)	80,043	5,887	85,930
昭和40年(1965)	23,411	32,016	55,427		平成16年(2004)	76,051	4,585	80,636
昭和41年(1966)	26,886	32,999	59,885		平成17年(2005)	64,682	4,490	69,172
昭和42年(1967)	24,563	29,266	53,829		平成18年(2006)	70,779	4,016	74,795
昭和43年(1968)	28,205	26,800	55,005		平成19年(2007)	69,941	4,538	74,479
昭和44年(1969)	29,044	27,412	56,456		平成20年(2008)	67,036	4,688	71,724
昭和45年(1970)	28,049	23,043	51,092		平成21年(2009)	64,518	4,423	68,941
昭和46年(1971)	34,001	22,645	56,646		平成22年(2010)	56,525	3,429	59,954
昭和47年(1972)	44,811	28,098	72,909		平成23年(2011)	42,758	4,421	47,179
昭和48年(1973)	63,659	29,888	93,547		平成24年(2012)	45,525	3,476	49,001
昭和49年(1974)	73,725	30,607	104,332		平成25年(2013)	39,145	3,065	42,210
昭和50年(1975)	86,509	32,328	118,837		平成26年(2014)	40,557	3,250	43,807
昭和51年(1976)	88,135	30,113	118,248		平成27年(2015)	36,373	3,420	39,793
昭和52年(1977)	95,706	29,571	125,277		平成28年(2016)	42,174	4,137	46,311
昭和53年(1978)	93,987	25,531	119,518		平成29年(2017)	45,676	4,914	50,590
昭和54年(1979)	107,889	29,429	137,318		平成30年(2018)	44,231	4,184	48,415
昭和55年(1980)	117,722	28,344	146,066		平成31年(2019)	45,590	4,148	49,738
昭和56年(1981)	107,526	25,656	133,182		令和2年(2020)	20,363	4,196	24,559
昭和57年(1982)	130,037	24,961	154,998		総 計	4,800,286	1,344,433	6,144,719
昭和58年(1983)	131,477	24,060	155,537					
昭和59年(1984)	126,699	26,539	153,238					
昭和60年(1985)	135,574	23,802	159,376					
昭和61年(1986)	127,461	23,810	151,271					
昭和62年(1987)	123,454	22,575	146,029					
昭和63年(1988)	124,266	21,612	145,878					

資料-3 友の会会員数

	(単位:名)						
	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助	東京友の会	学生会員	合 計
令和2年度	223	91	1,094	53	158	2,107	3,726
令和元年度	243	100	1,235	56	182	2,211	4,027
増 減	△ 20	△ 9	△ 141	△ 3	△ 24	△ 104	△ 301

\*1 昭和25年6月14日開館

\*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1～翌年3/31

\*3 平成6年度の事業期間は1/1～翌年3/31

\*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1～翌年3/31

\*5 新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/6～5/10臨時休館

## 資料一4 新収蔵美術品

【寄贈】

No.	種類	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	員数	寸法(本紙:外×ヨコ) cm
1	絵画	酒井 忠發	「御登城図」		紙本・墨書・額装	1面	
2	絵画	太田 義一	「松竹梅草花図欄間」	40.3×206.5	棒製・着色・欄間	2枚	40.3×206.5
3	絵画	太田 義一	「春花三種図」	大正15年 (1926)	絹本・着色・額装	1面	40.0×95.0
4	絵画	山田 浩堂	「大黒・恵比寿図」		絹本・着色・額装	双福	84.5×29.6
5	絵画	神楽江巻石	「山水図」		紙本・墨画・額装	1点	129.7×17.3
6	絵画		洛中庭内遊興図屏風	江戸時代後期	紙本金地・着色・六曲屏風	1双	
7	絵画		花鳥図小屏風		紙本・着色・六曲屏風	1隻	本紙一枚:28.7×16.6
8	絵画		「雨宝童子図」		紙本・着色・額装	1幅	105.5×46.8
9	書跡	鈴木 重胤	五十嵐姓起因		紙本・墨書・額装	1幅	152.2×84.4
10	書跡	酒井 忠寛	七言對句(「行經華陰」七言律詩 崔顥)		紙本・墨書・額装	双福	
11	書跡	酒井 忠篤	五言絕句『詩經』より 「国風・關雎 七月」		紙本・墨書・額装	1幅	150.0×78.0
12	書跡	酒井 忠一	『詩經』小雅「天保」の内 「如南山之 參、不寒不崩」		紙本・墨書・額装	1幅	52.8×78.5
13	書跡	梅田 信隆	一行書「悠々千古心」		紙本・墨書・額装	1幅	113.0×33.8
14	書跡	黒崎 研堂 武藤 雄山他	画帖	昭和9年 (1934)	紙本・墨書着色・ 折本	1冊	
15	彫刻	一色 邦彦	彫刻 「津舞 I」	平成8年 (1996)	アロシス*	1点	高さ: 82.0 / 台座高: 80.0 長さ: 66.5 / 反り: 1.1 / 釘穴 4ヶ
16	工芸	藤原 勝氏	刀 銘 播磨國住藤原勝 (以下切)		.	1口	長さ: 69.2 / 反り: 1.6 / 釘穴 1ヶ
17	工芸	関(美濃物) 樺定	刀 銘 於関樺定作之			1口	長さ: 45.4 / 反り: 1.1 / 目釘穴 2ヶ / 貴重刀劍
18	工芸	越中守多派	脇指 金象嵌銘 生袈裟片手討裁勘十郎正口 (花押) / 寛永十四年七月三日	寛永14年 (1637)		1口	長さ: 28.1 / 反り: 0.1 / 目釘穴 1ヶ
19	工芸	宗次	短刀 銘 備前介宗次			1口	長さ: 15.0 / 目釘穴 1ヶ
20	工芸	池田 一定	槍 銘 羽州庄内住池田一定 / 廉應四年月日	廉應4年 (1868)		1口	長さ: 20.1 / 目釘穴 2ヶ
21	工芸	兼先	槍 銘 兼先			1口	長さ: 10.5 / φ 10.5
22	工芸	佐藤 磯藏	安宅船模型			1点	
23	工芸	眞訪 薫山	青磁香炉			1合	
24	その他		至心流 小具足 捕手	明治28年 (1895)	紙本・墨書・巻子	1巻	18.2×619.5
25	その他		黒崎研堂宛書翰 (T4.6.29/S 3.1.15) 他		紙本・墨	一括	
			※絵画:8件/書跡:6件/彫刻:1件/工芸(刀剣他):8件/その他:2件				合計 25件